



# 議会だより



カエルぴよこぴよこ！  
ひまわりこども園

## 平成29年12月定例会・臨時会

あらまし・委員会提出議案	2
予算審査特別委員会・請願	3
一般質問 10人が登壇	4
臨時会	14
委員会レポート	15
町民の声	18

あらまし

12月定例会は12月5日から14日まで開催されました。  
町長から提出された議案は、専決処分の承認案件1件、平成29年度補正予算案件7件、条例の一部改正案件2件、会津若松地方広域市町村圏整備組合規約の一部変更案件1件であり、すべて原案のとおり可決しました。  
また、委員会提出議案1件が提出されました。  
一般質問は10人の議員により2日間にわたり行われました。

すべての案件 原案どおり可決

【審議した主な議案】

平成29年度猪苗代町一般会計補正予算（第5号）

歳入の主な補正は、塩化カリのそばへの追加施用が不要となったため営農再開支援事業交付金を減額、ふるさと納税寄付金は、前年度実績に比較して伸展が見込めることから増額した。

歳出の主な補正は、ふるさと納税寄付金の伸びに応じて不足が見込まれるお返しの商品代金を含む委託料及びふるさと納税システム使用料と、長浜地区のLED改修の街路灯設備事業費補助金及び新規学卒者等就職支援奨励金をそれぞれ増額、不良空き家等除去の申込みが見込めないため補助金を、統合中学校整備事業プロポーザルの完了によりそれぞれ減額した。

平成29年度猪苗代町介護保険特別会計補正予算（第3号）

平成30年から改正される介護保険法のシステム改修費を歳出、歳入共に増額補正した。

猪苗代町営住宅条例の一部を改正する条例及び猪苗代町定住促進住宅条例の一部を改正する条例

公営住宅法の改正に伴い、収入申告が困難な認知症患者や知的障害者等の入居者の申告義務を緩和するため条例の一部を改正する。

予算審査特別委員会

議長を除く14人の委員で、平成29年度補正予算7件を審査し、すべて可決しました。

平成29年度一般会計補正予算

【歳入】

《使用料及び手数料》  
問 旧会津バス跡地に係る使用料の増額計上は。

答 ドローン教室の使用料と駅前再整備事業で資材置き場として業者が借り上げた2件が計上されていなかった。

《財産収入》

問 物品売払収入で老朽化した除雪ドーザ2台と公用車1台はそれぞれ何年使用したのか。

答 除雪ドーザは約30年、公用車は18年ほど使用していた。

《寄付金》

問 寄付金の歳入額は。  
答 寄付件数406件、金額は3711万5041円である。

《諸収入》

問 多面的機能支払交付金の返還金が発生した理由は。

答 最低持ち越し額を除いては返還することになっている。複数年の事業期間で行うため、当初予定の事業が終わり、残金があれば返還することになっている。

【歳出】

《農林水産費》  
問 JA稲作部会が実施する里山のつづPR事業とは。

答 PR活動のための研修やボスター・パンフレットの作成、広告などを予定している。

《土木費》

問 危険な空き家対策の補助金の勧奨方法は。

答 所有者の方へ文書などで連絡をした。

平成29年度長瀬地区財産区特別会計補正予算（第2号）  
問 吾妻山造林地で予定して下刈りが不要になった理由は。

答 委託先が現地を確認したところ下刈りは不要との判断があり、取り止めた。

予算審査特別委員会・請願

あなたの声を審議しました！！

12月定例会で審議された「請願」の結果は次のとおりです。

区分	件名 請願者の氏名	紹介議員氏名	付託委員会	審議結果
請願第8号	種子法廃止に伴う万全の対策をもとめる請願	渡辺 二公 五十嵐ミエ子	経済建設	継続審査
	会津農民運動連合会 会長 根本 光一			
請願第9号	米の生産費を償う価格下支え制度を求める請願	渡辺 二公 五十嵐ミエ子	経済建設	採択
	会津農民運動連合会 会長 根本 光一			
請願第10号	憲法第9条の改定に反対する意見書について	渡辺 二公 五十嵐ミエ子	総務	不採択
	「戦争法」廃止主催者の会・会津 共同代表 高橋 力	大橋 清喜		

委員会提出議案

「米の生産費を償う価格下支え制度を求める意見書」

【提案者】 経済建設常任委員会

【内容】 平成22年に始まった農業者戸別所得補償制度は、生産調整の実効性確保と直接支払い交付金（1万5千円）により稲作農家の経営を支える役割を果たしたが、26年産米から10㍗あたり7500円に半減され、しかも30年産米から交付金の廃止が打ち出されており、稲作農家の経営困難に拍車がかかることは避けられない。生産費を償う岩盤対策を行い、国民の食糧と地域経済、環境と国土を守る趣旨から、米の不足払いなどで生産費を償う価格下支え制度を確立することを強く求める。  
【提出者】 衆議院議長、参議院議長

賛成討論！

【五十嵐ミエ子議員】

農業経営を下支えする政策の確率こそが必要と考える。国民の食糧と地域経済を守ることが重要という観点から賛成。

【議案内容と可決状況】

件名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	結果
	星野あけみ	瀧田勝昭	佐瀬 真	細貝功人	佐藤英一郎	大橋 清喜	渡辺 二公	長澤 操	金本久美子	渡辺真一郎	五十嵐ミエ子	佐藤光幸	関沢和人	後藤公男	長沼一夫	
平成29度猪苗代町一般会計補正予算（第5号）	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	可決
米の生産費を償う価格下支え制度を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	－	可決

上記以外の議案については全会一致で可決しました。

※賛成は「○」、反対は「×」、同数の場合は議長が採決に加わる。

憲法第9条の改定に反対する意見書について

反対！

【渡辺真一郎議員】  
憲法も時代に合った内容に変えていくのが当然ではないか。日本を守るだけの強力な軍備は必要であると考えてるので反対。

討論

賛成！

【五十嵐ミエ子議員】

憲法改正の議論をする必要は存在しない。現行の憲法で平和が守られている。子ども達に残すべき宝として大切に守っていきたいので賛成。

【佐藤英一郎議員】

改正については、国民の声を喚起した後に憲法審査会を開くようになると思う。今ここで改正する必要はないと判断するので賛成。

【渡辺二公議員】

平和をしっかりと守ってきた憲法を大事にすることが基本的に正しいと思うので賛成。





五十嵐 ミエ子

人口増の施策は

- Q. 人口増のため、子育て最優先に税金を使うべき
- A. 平成27年度から出産手当に約倍額の予算を計上

【五十嵐】人口減少の推移は。

【企画財務課長】国立社会保障人口問題研究所によれば、本町の人口は昭和22年をピークに、平成52年には1万人を割り込み9935人になると予想される。

【五十嵐】若者子育て世代の人口増への取り組みは。

【企画財務課長】空き家改修に対する補助事業や町内の民間賃貸住宅に入居した方を対象とした家賃の補助を実施している。また、新築住宅・中古住宅の取得補助についても整備し、若い生産年齢人口の移住を支援している。

【五十嵐】若者子育て世帯の人口増に重要なのは、子育て最優先に税金を使うべきと考えるが。

【町長】27年度から出産手当については、約倍額の予算を計上している。教育がひとつの根幹と考え、学校教育のあり方などを検討しながら進めている。

スポーツ振興まちづくりは

【五十嵐】スポーツ振興を宣言している町として、運動公園内のスポーツ施設に更衣室の設置が必要では。

【生涯学習課長】運動公園自体が河川敷地内であるため、建物は撤去する方針で進めている。

更衣室は、ご不便をおかけするが、水防センターの更衣室の利用をお願いしている。

【五十嵐】スポーツ施設を軸としたまちづくりの考えは。

【生涯学習課長】スポーツ施設を有効に活用し、町民一人ひとりが気軽にスポーツに取り組み、親しむことができるようスポーツ活動の拡大を図ることが重要と考え、施設使用料の減免措置、補助金交付の支援を行っている。また、県内外から毎年多くの学校が町内の宿泊施設で合宿を行っており、町の特色を生かして積極的に合宿等の誘致を呼びかけていきたい。

【五十嵐】スポーツ振興財源は国と自治

体の予算の増額が基本と考える。大会に出場する子どもたちへの支援は。

【町長】全国大会、東北大会等においては、激励金を差し上げている。今後もスポーツ選手を育成していきたい。



昭和59年にスポーツ振興の町を宣言した

今後の取り組みは

【星野】道の駅猪苗代をはじめ、2つの日本遺産と多くの観光資源を持つ猪苗代。地域と人を結ぶスタンプラリーの今後の取り組みは。

【町長】道の駅を拠点とした観光づくり、新しいコースづくり、商品づくりをしたい。

いろんな角度から各方面の観光地めぐりをコースに設定し、地域活性化を図るまちづくりをやっていききたい。

いなわしろスタンプラリーの概要は

【星野】企画の内容は。

【商工観光課長】町内観光施設を回って「見る」「食べる」「買う」「体験する」「泊まる」のテーマごとにスタンプを押印し、スタンプ数に応じて、抽選でペア宿泊券・食事券・天のつぶ・物産詰め合わせが当たる企画である。

【星野】対象となるのは観光客か。

【商工観光課長】基本的には観光客を対象にしているが、町民の方も参加できる内容となっている。

【星野】町民も日常生活の中での取り組み企画であるが、周知の方法は。

【商工観光課長】猪苗代観光協会、参加事業所にパンフレットを配布し、ホームページでも周知した。

【星野】実績は。

【商工観光課長】春爛漫いなわしろスタンプラリーは40事業所、いなわしろスタンプラリーは95事業所が参加し1万部の台紙を作成した。

応募の申し込みは県内が一番多く、東京都や千葉県、新潟県からも届いている。

【星野】集客効果は。

【商工観光課長】桜の名所や観光施設を広くPRでき、回遊性を高め、物産の振興やリピーターの獲得につながった。

もっと多くの方に参加してもらえよう、周知方法を工夫したい。

【星野】参加者の反響は。

【商工観光課長】「今まで知らなかった場所やお店を知るきっかけとなり楽しかった」「キャンペーンがあったことで行き先が決めやすかった」「部門別のスタンプ獲得がとても楽しかった」など、良い評価が多かった。

町内参加事業所からも今後も継続してほしいと要望があった。



今後も継続してほしいスタンプラリー





細貝 功人

Q. 老朽化した公営住宅の軒数は  
A. 町営・町設併せて34棟、84戸である

公共施設の老朽化対策は

【細貝】多くの公共施設があるが、計画的な老朽化対策はとっているか。  
【企画財務課長】公共施設等総合管理計画を策定し、町民生活に支障をきたさないよう対策をとっている。  
【細貝】公共施設等総合管理計画は十分であると考えているか。  
【企画財務課長】適切な計画であると考えている。  
【細貝】公営住宅の老朽化対策と住宅跡地の有効活用は。  
【建設課長】木造の町営住宅と町設住宅は、長寿命計画に基づき用途を廃止する計画である。  
跡地利用は、財源確保した中で、危険な建物は取り壊し、更地にする。その後の用途については、十分検討していきたい。



木造の町営住宅

統合中学校建設基本計画は

【細貝】一般公募したワークショップの応募者数及び決定者は何人か。  
【教育総務課長】5名を募集したが、1名の応募で1名を決定した。  
【細貝】4名欠員の二次募集等は。  
【教育総務課長】追加募集は行わない予定である。  
【細貝】今後のスケジュールは。  
【教育総務課長】ワークショップはあと2回実施予定である。また、各小中学校の保護者及び中学校の生徒に対し、将来どのような中学校がいいのか、アンケートを実施する予定である。  
【細貝】住民説明会の開催時期は。  
【教育総務課長】2、3年後の統合になるので、現在、小学生の保護者の方を中心に開催する予定である。



統合される猪苗代中学校

住民要望の文書化は

【細貝】住民の苦情・要望の対応は。  
【総務課長】電話・来客対応処理簿を設けて、住民の目線に立った対応を心がけている。  
プログラミング教育の導入は  
【細貝】小中学校でのプログラミング教育の導入・推進の考えは。  
【教育総務課長】プログラミング教育については、県で具体的な指針等が示されており、現在様子を見ており、早期導入は難しいと考えている。

プログラミング教育とは？

子供たちに「コンピュータに意図した処理を行うよう指示することができる」ということを体験させながら、将来どのような職業に就くとしても時代を超えて普遍的に求められる力としての論理的思考力や想像力の向上などを育むこと。

統合中学校の建設計画は

【金本】住民説明会の取り組みは。  
【教育総務課長】基本計画策定中ということなので説明会は行っていない。  
【金本】実際に平成31年から34年に対象となる生徒、父兄には、具体的な説明とアンケートではなく意見の聞き取り等行う必要があるのでは。  
【教育総務課長】30年度になると思うが、今後の基本設計等にそういった意見を聞き入れ、統合中学校を作りたいと思っており、今後説明会の予定を組んでいく。

町の農業政策は

【金本】115号バイパスの東側80mのほ場整備除外地の有効利用は。  
【農林課長】農地転用以外の農地では、ほぼ農作物の生産活動が行われている。しかし、一部狭小で不成形な農地については、自己保全管理で作付けしていない。町の国土利用計画や都市計画との整合性を図り、有効な土地利用を行っていきたい。



115号バイパス東側80m周辺

【金本】整備完了より10年以上経過しているのに、意向調査等を含め、再度農業の実態や実情を調査し、対策を立てる必要があるのでは。  
【農林課長】所有者、耕作者の意見を伺いながら、意向を確認したい。  
【金本】町の推奨米「天のつぶ」と「里山のつぶ」、今年度の実績と今後の計画は。

【農林課長】全水稲生産面積約2170畝である。そのうち、天のつぶは約74畝で、里山のつぶは約25畝である。JA会津よつばの稲作部会で22ト販売し、海外販売分は1トとなっている。

次年度は、海外販売の他にネットでの販売、道の駅での真空パック販売と、猪苗代の天のつぶとして付加価値を付けた販売を今後増やしていきたいと見込んでいる。  
本年度は天のつぶ約60畝、里山のつぶ55畝の作付が見込まれる。猪苗代ブランドとしてのひとめぼれ、天のつぶ、里山のつぶ3種類のセット販売も計画している。

金本 久美子

Q. 統合中学校開校までの基本構想は十分な議論の末に構築すべきでは  
A. 南側の校舎・北側のグラウンド等は基本構想であって、説明会等行った結果により決定する







瀧田 勝昭

東京オリンピック・パラリンピック  
ホストタウンとは

【瀧田】ガーナ共和国の事前キャンプの  
内容は。

【生涯学習課長】リオオリンピックの出  
場種目を参考に利用する施設は、  
陸上競技場と総合体育館の2施設  
を想定し、大規模な施設整備は行  
わず、既存の施設を活用する。時  
期は、2020年7月上旬より10  
日間程度を予定している。

【瀧田】サッカーなど想定外の競技が出  
場可能になった場合の対応は。

【生涯学習課長】サッカー、重量挙げ等  
の施設は持ち合わせていないので、  
今ある既存の施設整備でガーナ共  
和国に了解していただくように努  
める。また、サッカーグラウンド  
等は、周辺自治体の協力が得られ  
るか検討していく。

Q. 事前キャンプ期間中、町民等の運動施設利用は  
A. ご理解をいただき、ホストタウンを成功させたい



オリンピックが参加した町民運動会

【瀧田】平昌オリンピック・パラリン  
ピックに、当町出身者が出場した  
場合、パブリックビューイング等  
の実施は。

【生涯学習課長】本町出身の選手が出場  
する可能性が高いので、町も応援  
する。具体的には周知の横幕とか  
縦幕、あるいはパブリックビュー  
イング等を開催したいと考えてい  
る。

公営企業の経営改革は

【瀧田】上水道の給水人口が減少し、事  
業が成立しない場合もある。広域  
化の検討は。

【上下水道課長】水道事業の広域化は、  
福島県主催での検討会が今年度開  
催された。まだ始動したばかりで  
ある。

【瀧田】農集排での排水設備を更新せず、  
公共下水道等に統合することはあ  
るのか。

【上下水道課長】白津地区の農集排施設  
は、公共下水道に統合する計画で  
ある。

金曲地区の農集排施設も、特環  
志田浜に接続する検討をしている。

【瀧田】公共、特環、農集特別会計の経  
営統合は、公営企業法の適用後  
を目途に経営統合するのか。

【上下水道課長】下水道事業は、現在公  
営企業に向けて作業を進めている。  
平成32年度からの法適用化を目指  
している。

地域創生、活性化のための支援は

【長澤】町民からの陳情や請願に対し迅  
速な対応となっているか。

【総務課長】採択された案件については、  
速やかに対応するということで取  
り組んでいる。5月には処理経過  
及び結果について報告をしている。  
【長澤】地区の区長や町民の要望に応え  
られる体制になっているか。

【総務課長】住民参加のもと、安全で安  
心して住める町づくりを進めるた  
め、町民の要望に応えることがで  
きる体制づくりを目指している。

【長澤】地域の各種取り組みに対する助  
言や支援についての考えは。

【総務課長】行政と町民の協働や自ら地  
域を育てるという町民意識の向上  
が高まっているなか、地域で行う  
部分、行政が担う部分を精査し、  
出来る限りの助言や支援を行って  
いる。

【長澤】地域の自主活動をもっと奨励す  
べきと思うが。

【総務課長】町を元気にするためには、  
町民の方々の自主的な活動やボラ  
ンティアは有効であり、地域発展  
のためには必要不可欠なものと認  
識している。

国の財政支援のある多面的機能  
支払交付金制度の活用も合わせ、  
地域の自主活動を奨励していき  
たい。



町から支給を受けた砂利で農道整備を行う

【長澤】基幹事業や大型事業とは別枠で  
の地域活性化のための予算確保を  
はかるべきでは。

【企画財務課長】現在インフラ整備等に  
関しては、ある程度の予算を確保  
し、要望があれば支給している。  
毎年度予算編成では厳しい財政状  
況と申し上げており、地域の自主  
活動を支援するための予算確保は  
現状では厳しい。

【町長】予算の計上は理由があつてされ、  
町民にあらさまにするというこ  
とである。いろいろの希望があれ  
ば、各機関において予算を計上し  
ていきたい。



長澤 操

Q. 地域活性化のための予算確保を  
A. 各機関での予算計上を行いたい





渡辺 二公

学びいなのロッカーの現状は

【渡辺】ロッカーの案内や周知が分かりやすくされているか。

【生涯学習課長】イベントなどで町外や県外からの利用者にはロッカーを案内している。

また、表示もしている。



学びいなに設置されているロッカー

デマンド交通は

【渡辺】平成23年からスタートして町民の足となり定着しているが利用者の数は。

【企画財務課長】スタートから2千人を超えて27年度3576人、28年度3745人、今年度は前年度並みの利用者数を見込んでいる。

【渡辺】利用者や町民から要望や希望の声は届いているのか。

【企画財務課長】電車を利用するため午後4時から5時台の運行ができないかとの声がある。

【渡辺】手続きは家族でも可能か。

【企画財務課長】委任状のようなものがあれば、代理の方でも登録申請は可能である。

【渡辺】今後の課題は。

【企画財務課長】委託先の経營業務が多忙となり、また、二種免許を持つ運転手不足や高齢化が問題としてある。



ヤードを新設したい和みいな

【渡辺】「学びいな」や「和みいな」を利用したいが、ヤードの変更か新設は可能か。

【企画財務課長】ヤードの変更については町の地域公共交通会議があり、この会議にかけて協議を踏まえ了解を得て東北運輸局にヤードの許可を申請する事になる。

Q. 学びいなにコインロッカーの設置は  
A. 利用者の必要性があれば進めていきたい



渡辺 真一郎

Q. 農業と観光が一体となつての振興は  
A. 商工農の連携をサポートする

町一体となつての産業振興は

【渡辺】地産地消が叫ばれているが、農業生産者と観光業者の会合は持たれたか。

【農林課長】農業者、商工業者、観光業者、消費者の代表や関係団体で構成する「猪苗代町六次産業化地産地消委員会」を設置し、情報交換の場を設けると共に、専門部会を立ち上げ地産地消を図る。

【渡辺】農業生産者と観光業者の要望の情報交換はなされたか。

【農林課長】農業の生産数量種類とも業者が安定して仕入れる体制にない。

【渡辺】魅力ある観光資源を持ちながら商品が不足しているのか。

【農林課長】米以外の農産物による農業生産の向上を目指す。

役場窓口の改善は

【渡辺】役場の各課カウンターに職員の名、写真、担当職務一覧を明示してほしい。

【総務課長】研究して対応する。

【渡辺】自分の席にいない職員の戻る予定も掲示してほしい。

【総務課長】県の例も参考に可能なら改善する。



役場窓口の改善を

上下水道の整備は

【渡辺】需要減少と施設の老朽化により将来大幅な水道料金の値上げが必要となるのでは。

【上下水道課長】可能性は十分ある。

【渡辺】有収水量率の大幅なアップを計画しているが可能か。

【上下水道課長】漏水頻発地区の敷設替え実施により達成する。

【渡辺】下水道の未接続世帯数は。

【上下水道課長】30%、千世帯ある。

【渡辺】接続率を向上させるために猪苗代湖の水質改善を目的とした企業版ふるさと納税を近隣市町村の企業に呼び掛けてはどうか。

【企画財務課長】検討していく。

第四次産業革命への対応は

【渡辺】20年以内に約半数の雇用がAIに置き換えられる予想がある。時代の変化への対応は。

【総務課長】じっくり調査していく。

【渡辺】当町が取り残されることを危惧するが。

【総務課長】国、県、他の自治体の動向を見極め町制改革に活かす。

【渡辺】改革のトップランナーになることを期待する。

【総務課長】先ずは遅れないようにする。

AIとは？

人口知能。人間の知的能力をコンピュータで実現する。





関沢 和人

新年度の方針は

道の駅の運営は

【関沢】従業員への指導、教育など、接し方は適正に行われているか。

【関沢】重点施策は。  
【企画財務課長】第七次振興計画の実現に向けて調整中である。

【関沢】地方創生事業交付金の活用は。  
【企画財務課長】内容や補助率が毎年変化しているが、常に情報収集を行い、町の負担を少なくできるように積極的な活用を図っていく。

農業振興は

【関沢】米の生産調整が30年から廃止され、国は目標の策定配分をやめ、産地の自主的な取り組みに移行する。町の取り組みは。

【農林課長】米価の安定のためには、需要に見合った生産調整が必要である。30年産は、県から示された目安の数値で主食用米生産を目指し誘導する。米価の安定と農業所得の維持向上を目標として推進していく。

【関沢】道の駅の総事業費と財源内訳は。  
【建設課長】総事業費は23億7050万7千円で、内訳は国庫補助金等が3億6462万7千円で15・4%、県支出金が8435万3千円で3・6%、地方債、過疎債等緊急防災減災事業債が13億2890万円で56・1%、その他834万3千円で0・3%、一般財源が5億84284千円で24・6%である。  
【関沢】現時点での入り込み数は。  
【建設課長】12月11日までで101万3306人である。

【副町長】不適切な方には辞めていただいている。今後も経営改善に努めていく。  
【関沢】道の駅と観光協会との連携は。  
【町長】十分に対応し、スムーズな運用をしている。  
【関沢】道の駅から備品使用料が支払われているが、施設使用料とはならないか。  
【建設課長】備品整備に要した費用負担が終了した後、運営状況を確認し、収益事業分は施設使用料の徴収も検討していく。



11月30日に来場者100万人を達成した道の駅

Q. 平成30年度予算の規模は

A. 約70億程度と見込む



佐瀬 真

Q. 子ども達の日線に立った計画が必要では

A. 学校現場と協議の上考えていく

中学校統合と建て替えは

【佐瀬】今回のプロポーザル方式での設計者の選出方式が、現在の中学校敷地に建てる条件となっている。子ども達が学んでいるが、これは建てるといふものだが、これは子ども達の日線に立った計画ではないのでは。

【教育長】体育の授業で校庭が使えない事や騒音の問題など、現在の学校現場と協議の上考えていかなくてはならないと思っている。

【佐瀬】設計者をプロポーザルで決める以前にワークショップや住民説明会を開催すべきではなかったのか。順番が違うのではないか。

【教育総務課長】基本構想は作ったが、それが決定ではない。これから開催する住民説明会やワークショップをとおして意見を聞きながら進めたい。

【佐瀬】子ども達のことを考えると統合先行は考えていないのか。  
【町長】中学校建て替え前に、先行しての統合は考えていない。



校庭への校舎建設が危惧される猪苗代中学校

【佐瀬】東京オリンピックを控え、工事費や資材高騰を考慮しているのか。  
【教育総務課長】人件費・資材共に現在高騰中で、これから事業費が上がることも十分考慮していく。  
【佐瀬】東京電力の賠償金もなくなり、税収も下がってくる現在では、既存校舎の利用を考えた案も必要ではないのか。

【町長】子ども達の教育なので、新校舎で教育をしていきたい。

【佐瀬】中学校統合と同じく猪苗代高校存続の問題も重要だが、道の駅に観光ビジネス科のブースなどを作る考えは。  
【町長】道の駅経営で精一杯なので、現在のところ考えはない。

軽便廃線50周年事業は

【佐瀬】来年の廃線50周年は独自の取り組みは行わないのか。

【生涯学習課長】軽便を語り継ぐ会の事業へのPRなどを応援していく。  
【佐瀬】この軽便が足となり、発展をとげた中ノ沢温泉郷が風評被害と東電賠償金打ち切りから衰退に向かうのではと危惧される。支援策は。  
【町長】体育施設などを生かし、学生合宿の誘致を図り活性化につなげる。



# 県の人事委員会勧告に準拠し改定

臨時会  
(12月27日)

## あらまし

平成29年第7回臨時会は12月27日開催され、平成29年度補正予算6件、条例の一部改正案4件、財産の取得について1件を審議し、すべて原案のとおり可決されました。

### 【主な審議内容】

- 平成29年度猪苗代町一般会計補正予算（第6号）  
歳入歳出それぞれ818万4千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ80億646万円とする。
- 職員給与に関する条例の一部を改正する条例  
福島県人事委員会勧告に準拠し、職員の給料月額及び諸手当の額を改定する。
- 議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例  
福島県に準拠し、議員に支給する期末手当の算定基礎額に乗ずる割合を改定する。
- 町長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例  
福島県に準拠し、町長等に支給する期末手当の算定基礎額に乗ずる割合を改定する。

○一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例

福島県人事院委員会勧告に準拠し、一般職の任期付職員の給料月額を改定する。

○財産の取得について

都市計画道路猪苗代中央線の道路用地として、字芦原13番他35筆を4010万2913円で取得する。

### 【主な質疑】

《財産の取得について》

問 土地の境界の確認は。

答 関係集落の方に立会いをお願いし、現地を確認した。

問 必要ない土地を公売する場合、境界の問題はないか。

答 隣接者とよく協議し、現地を確認した上で対応を考えていく。

問 猪苗代中央線の残地の計画は。

答 現段階で詳細の用途はまだ協議していない。

議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

### 【反対討論】

【五十嵐ミエ子議員】

地域経済は大変厳しい状況である。人事委員会勧告があったからといって職員の給与改定に伴い議員の期末手当を引き上げることは納得できないので反対。

町長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例

### 【反対討論】

【渡辺二公議員】

人口が減少する、風評いまだやまざという厳しい現状の中にあつて予算も大変厳しいので反対。

【五十嵐ミエ子議員】

職員の給与改定勧告に便乗したものと云わざるを得ないので、この期末手当を引き上げる条例には反対。

件名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	結果
星野あけみ	瀧田勝昭	佐瀬真	細貝功人	佐藤英一郎	大橋清喜	渡辺二公	長澤操	金本久美子	渡辺真一郎	五十嵐ミエ子	佐藤光幸	関沢和人	後藤公男	長沼一夫		
平成29年度猪苗代町一般会計補正予算（第6号）	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	可決
議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	○	×	○	○	○	×	○	○	○	×	欠	○	○	○	○	可決
町長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	○	×	○	○	○	×	○	○	○	×	欠	○	○	○	○	可決

上記以外の議案については全会一致で可決しました。

※賛成は「○」、反対は「×」、欠席は「欠」、同数の場合は議長が採決に加わる。

# 委員会レポート

## 議会運営委員会

## 議会活性化の取り組み

山形県大江町と山辺町において視察研修を行った。

### 【大江町】

平成26年度に議会報告会、懇談会として取り組み、町民の意見を集約し、27年9月に提言書を町に提出している。その後は各種団体との懇談会や意見交換会を行い、要望、意見など現場の実情をつかんでいる。議員力、議会力が住民から信頼されるキーワードと思っている。基本条例については、これからの方向性を明確にし、一つの方向性として、そこへ向かって歩んで行くことで志が一つになると思われる。

### （主な取組内容）

- ①議会報告会・意見交換会
- ②政務活動費の支給・公開
- ③議員定数の見直し
- ④インターネット中継の配信
- ⑤政策提言書の提出

### 【意見】

地方自治の鏡と言われた鈴木俊一元知事を輩出した町で、議会人としての意識の高さは見習うものがあった。町政に対し、政策提言を行い、町民との議会報告会、意見交換会では、各地区だけでなく各種団体と行っていたことは大いに参考となる。

### 【山辺町】

意見交換会を行ってきたが、参加者が減ってきたということで、「出前議会」を開催するようにした。小さい単位でいつでも何処でも議員のほうから出向き、ひざを付き合わせて話を行うことで好評となっている。29年11月には政策提言も行った。

### （主な取組内容）

- ①議会報告会・意見交換会
- ②議員費用弁償（日当）の廃止
- ③議員定数の見直し
- ④インターネット中継の配信
- ⑤政策提言書の提出

### 【意見】

政策提言の内容は、町民の不安を反映すべく作成され、簡明に理解しやすい文面となっている。また、隣接町議会との定期的な協議などは、参考とすべき事業である。



議会改革に取り組む大江町

## 議会広報編集特別委員会 読まれる議会広報誌を作るために

町村議会広報全国コンクールで表彰を受けた宮城県七ヶ浜町と大和町を視察した。

### 【七ヶ浜町】

基本的な考え方として、広報誌は住民と議会をつなぐ架け橋であり、読みやすく親しまれることをモットーに、字数は少なめに、白スペースを有効利用し、明るい紙面になっている。留意点として、重要な案件は詳細に、簡易なものには要約し、見出しは記事よりも大切にしている。委員が担当する2年分の項目を決め、同じ記事を担当することでノウハウが蓄積され効果も良い。

### 【大和町】

基本方針として、広く町民に議会の審査内容や行政の動きを知ってもらおう。定例会の重要な議案や町民の関心のあることを大きく見せ、そのほかは分かりやすくまとめている。留意点として、専門用語やカタカナを多用しない。インパクトのある見出し、写真、レイアウトに努め、一口メモを掲載する。表紙が重要なので、学校行事などの写真の中から学校や保護者

### 【意見】

両町ともインパクトのあるタイトルやレイアウトを大切にしている。特に、掲載記事や町のイベント等をクイズ形式にして、町民参加を促進している。また、小学生の町に対する夢や希望を記事にし、開かれた議会をアピールしている。これらを参考に、分かりやすい、もっと読まれる広報誌を目指し、編集に取り組んでいく。



大和町で親しまれる広報を学ぶ



# 委員会レポート

## 文教厚生常任委員会

### 町内各小学校の現況調査

#### 【概要】

緑小学校が平成31年度に複式学級になる可能性が高い。

また、団体競技を行う時や多様な考えを引き出す時に、多くの子どもがいるほうがよい。個に応じた指導が大切な時代でもあり、先生方の指導が行き届くなど、小さな学校だから出来ることも多い。いじめは現在のところみられないが、いつ起きるかわからない。危機意識を持って対応している。

学校施設は一部の校舎修繕が行われていない。また、特別支援教育を受けている児童が増えていて、町が配置している支援員の他に、子供や保護者がいつでも相談できるスクールカウンセラーなどの配置を希望している学校もあった。給食費は、年度末までには納められているので問題はないが、給食費の集金を学校が行うことが負担になっている。

#### 【意見】

小規模校の良さも報告されている。学校の統廃合をする場合は、一人ひとりの子どもの教育にどのような条件が必要なのかを、保護



どこの学校でも安心して学べる環境を

者や住民とよく話し合い、合意を得て進めていくことが求められる。どの学校においても施設の修繕は速やかに行い、子ども達が安心して学べる環境を整備すべきである。

給食費未納となっている保護者への督促や、多額の現金を扱うことが教職員の負担となっている。負担を軽減するため、行政で収入事務を行うことを検討すべきである。

子供達や保護者が自ら相談することができ、いろいろな問題を未然に把握することもできるという観点から、町独自のスクールカウンセラーや教育相談員等の配置を検討すべきである。

## 総務常任委員会

### 防災組織作りの現状は

#### 【概要】

自主防災組織といわれる独自の活動を行っている組織は町内にはまだない。ほとんどの区が組織を作っている区長が組織の長を兼務し、役員が同じく組織の中で兼務するというものである。

町は、各行政区に対し、毎年4月の区長会総会の中で設立についてお願いをし、活動促進のためにも名簿や規約の雛形を渡し、提出を促している。平成29年度は、109の行政区中53地区より提出があったが、56地区は提出されていない。組織の内容については、情報班、消火班など5つの班で構成されている。ほとんどが消防班長、青年会長、婦人代表の方が充職となっており、避難場所については集会所等が設定されている。

また、自主防災組織等で活動する場合、県の事業において補助メニューがあり、概ね15人以上の団体で活動するときに人的な支援がある。現在では、活動といえるようなものはないが、今後も引き続き各行政区での自主防災活動について啓発をしていく。



平成29年度 町総合防災訓練

自主防災組織については、53地区49%の名簿が出ているが、半数に満たない状況である。組織率も大事だが、組織として機能しなければ形骸化したものになってしまう。自主防災組織作りとして、組織の明確化、財政支援も含め住民との協働ということに住民と行政との融和を図り、いざというときに活動できる組織を作っていく必要がある。

また、高齢化と人口減少という状況の中で消防団とは別の位置付けで「機能別消防団」というものの活用も今後検討し、防災組織を作るにあたって推し進めてもらいたい。

#### 【意見】

## 会津若松地方広域市町村圏整備組合議会報告

平成29年8月24日から8月定例会が開催された。28年度の決算については、歳入55億8100万円、歳出54億3900万円で差し引き残額1億4100万円は29年度へ繰越となった。猪苗代町の負担金は28年度4億100万円ほどであった。

主な議案は、財産取得2件であり、1件は水槽付消防ポンプ自動車6102万円（会津若松消防署配備）、もう1件は普通救急自動車2046万6千円（金山出張所・昭和出張所へ各1台）の2件であった。提出議案はすべて可決された。

次に、10月に行われた臨時議会では2件の議案が提出された。

1件は会津坂下消防署新築工事請負契約の締結についてであり、契約金額は5億3727万8400円（旧庁舎等解体工事込み）で、契約先は株式会社東北入谷まちづくり建設である。

2件目は新最終処分場用地の財産取得であり、取得面積7万514平方メートル、取得金額1億4052万1987円、用地取得場所は磐梯町大字更科地内である。



会津若松消防署に配備される水槽付きポンプ自動車

いずれも可決された。

全員協議会では、あいづふるさと市町村圏協議会の基金廃止について説明があり、9年から会津17市町村で積み立てた30億円の原資を保有し、その運用益を活用して様々なソフト事業を行ってきた。先の総会において「あいづふるさと市町村圏協議会事業を29年度で終了し、協議会を来年4月に解散する」ことに決定されたとの報告があった。

## 経済建設常任委員会

### 道の駅猪苗代の状況は

#### 【概要】

来場者数は、間もなく1年で100万人という約2倍の利用者が見込まれる。売上高は計画に対して開業6カ月で計画の75%を達成した。

農産物の販売体制は、91の個人・団体が加入している出荷者協議会で、出荷時期をずらすなどの工夫をしながら年間を通して出荷できるよう取り組んでいる。

観光案内などは、観光協会が当初の観光コンシェルジュではなく、観光案内所ということで対応している。

高速バスなどの受け入れは、除雪や駐車スペースなどの諸問題から、現時点では考えていない。

ヘリポートの離着陸は、観光業目的での利用は、騒音問題等があるため、周辺の了解を得なければできない。

除雪は、今年は町内の業者に委託し、夜間は基本的に行わない。

夜間の照明は、必要最小限の照明を確保し、稲などの生育に支障を来たさないよう配慮していたが、ヘリポートなどが整備されたことから、照明の角度は今後変更する予定である。



記念品を受け取る100万人目の来場者

開業1年で、来場者数は予定をはるかに上回る見込みである。しかし、レストランの営業時間は他の道の駅と比べ短く、来場者が満足できるサービスは出来ないと思われる。

夜間の照明は、防犯上からも明るくしていた。また、除雪についても、防災機能の拠点ということからも、駐車場などの積雪状況などを確認し、24時間利用できるよう対応していた。また、



# 町民の声



月輪地区  
渡部 博行さん

## 再びの水質日本一を願って

宝の山と歌われる磐梯山。水質が日本一と言われた猪苗代湖。

そんな宝物の猪苗代湖、平成17年に日本一となった水質は、ランク外との評価を受けているのが現状です。

pH値が酸性から中性に近くなったことや、10年前まで地引き網をして湖の底まできれいにしていた人が高齢のため、に引退してしまった事などの原因もあると思っています。

青浜クラブのメンバーとして天神浜・松橋・青浜に関わっている私が、ここ数年、頭を悩ましている事は、水質問題と並んで問題になっているヒシの繁茂です。

猪苗代湖では、夏の水泳ぎ

だけではなく、ウォータースポーツの普及などで、水上バイクやウインドサーフィンなどにヒシのつるが絡まり、水上で止まってしまいう事が多くなっています。砂浜ではヒシの実が一面に散乱していて、裸足などで歩くとケガをしたりする恐れもあります。また、繁茂しているヒシが水中で枯れ、水質をさらに悪化させる事は明らかです。これらは、猪苗代湖の観光に携わるものとして見過ごす事の出来ない問題です。幸いにもNPO「輝く猪苗代湖をつくる県民会議」や猪苗代ロータリークラブ、県の担当課の真剣な取り組みにより、今後に光明が見えて来たように思います。

水質日本一が復活したならば、郡山市と共にいる日本遺産「一本の水路」など、猪苗代湖を中心とした観光をもっと推し進めていけるものと考えます。

再び水質日本一と胸を張って言える日が来る事を願っています。

## 議会の行事

### 会津耶麻町村議会議員研修会（10月12日）

「議会運営」について、福島県議長会統括参事の吾妻邦博氏をコメンテーターに迎え、西会津町、北塩原村、磐梯町、猪苗代町のそれぞれの議会議員代表がパネラーとなり、意見交換が行われました。

（磐梯町中央公民館）



## 傍聴においで下さい

**3月議会は  
3月6日(火曜日)  
開会予定です。**

【一般質問予定日：12日(月)・13日(火)】

※質問者・質問内容については3月1日以降に町のホームページ（議会事務局）に掲載します。また各公共施設にチラシを掲示しますのでご覧ください。

### 揭示施設名

- ・役場町民ホール
- ・学びいな
- ・和みいな
- ・カメリーナ
- ・町立猪苗代病院
- ・老人福祉センター
- ・如風庵
- ・まちのえきまるしめ

## 編集後記

新しい町の顔としてオープンした道の駅猪苗代は、昨年11月までに100万人の入場者があり更なる情報発信が求められます。

近年の情報はネットやツイッターのようなツールが話題になっていますが、議会だよりのような紙面によるものは考えながら何回も読み返すことができ、想像力が豊かになります。

委員会では「読みやすく、分りやすく」をモットーに編集に取り組んでいます。議会だよりにについての忌憚のないご意見をお待ちしています。また、議会は誰でも予約なしで傍聴できますので、ぜひお出かけ下さい。

後藤 公男

### 議会広報編集特別委員会

委員長	後藤 公男
副委員長	佐藤 英一郎
委員	星 野 あけみ
委員	瀧 田 勝 昭
委員	佐 瀬 功 真
委員	細 貝 功 人
委員	渡 辺 二 公
議長	沼 沼 一 夫